

臨床研究に関する情報公開

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<p>＜研究課題名＞</p> <p>85歳以上の超高齢者乳癌症例の検討</p>
<p>＜研究機関・研究責任者名＞</p> <p>日本大学医学部附属板橋病院 乳腺内分泌外科（研究責任者）榎本 克久</p>
<p>＜研究期間＞</p> <p>承認日 ～ 西暦 2020年 12月 31日</p>
<p>＜研究の目的と意義＞</p> <p>85歳以上の当科で乳癌手術を施行した症例を後ろ向きに研究し、予後を検討する。</p>
<p>＜利用する試料・情報の項目＞</p> <p>研究対象者基本情報：年齢、性別、術前データ、予後、治療内容など 初回乳癌手術時の病理所見 乳癌術後の生存期間及び治療方法</p>
<p>＜対象となる患者さん＞</p> <p>西暦2010年 1月 1日～西暦 2019年 12月 31日の期間に85歳以上で当院乳腺内分泌外科で乳癌手術の治療を開始された方</p>
<p>＜研究の方法＞</p> <p>西暦2010年 1月 1日～西暦 2019年 12月 31日の期間に当科で乳癌手術を施行した85歳以上の46例を対象とする。手術適応は、手術の有用性が手術リスクを上回ると判断された時に実施される。手術の方法は標準的乳癌手術を基本とし、手術リスクを考慮して縮小手術を実施する。従って85歳以上の患者においては、原則として標準的乳癌手術あるいは手術リスクに応じた縮小手術がなされている。術前のデータなどの背景因子及び術後の病理所見を調べ、治療方法による生存期間について比較検討する。</p>

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)

乳腺内分泌外科 氏名:榎本 克久

電話:03-3972-8111 内線:(医局)2451 (PHS)8153